

# 南アルプス市立八田小学校 前期自己評価書

令和2年8月18日(火)作成

## 【小中一貫校八田小中学校の教育】

1. 教育目標 「ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成」  
～知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指して～
2. 『八田 Children first』 「明るい 伸びゆく 夢みる」児童から「未来を展く 理想は高く 世界をめざす」生徒へ  
小中一貫校八田小中学校の教育は，【八田 Children first】をコンセプトに『1. 学習をつなぐ 2. 児童生徒をつなぐ 3. 教職員をつなぐ 4. 学校・家庭・地域をつなぐ』の4つの『つなぐプロジェクト』を柱とし，義務教育9年間で「途切れのない連続させた教育」となるよう取り組みます。
3. めざす児童生徒像
  - ふるさとを大切に思う児童生徒
  - 変化の激しい先行き不透明な社会に対応できる主体性のある児童生徒
  - 自律性・豊かな人間性を持ち，たくましく生きていくための健康，体力を持った児童生徒

## 【学校教育目標】

「豊かな心を持ち かしこく たくましい子どもの育成」

## 【めざす子ども像】

〔なかよく〕 思いやりの心を持ち 礼儀正しく行動する子ども  
〔かしこく〕 自ら学び 友と対話し 深く考える子ども  
〔たくましく〕 よく食べ よく運動し 命を大切にする子ども

## 【めざす学校像】

- 仲よく助け合い，笑顔の集う学校
- 学ぶ楽しさにあふれる学校
- 整然とした，美しい学校
- 安全で安心な居場所としての学校
- ふるさと八田を誇れる学校

## 【めざす教師像】

- 子どもとのふれあいを大切にし，子どもとともに成長する教師
- 自己を高め，創意工夫して実践する教師
- 学ぶ姿勢をもち，互いに磨き合う教師
- 目標に向かって協働し合う教師
- 心身ともに健康で，児童，保護者，地域，同僚から信頼される教師

## 【特色ある教育活動】

- (1) 小笠原流礼法・立腰教育 心と体のバランスのとれた子ども
- (2) ふるさと教育 文化財課との連携や地域の人材を活用し，ふるさと八田を愛し，ふるさと八田に誇りをもつ子ども
- (3) 川柳 言葉を大切にし，感性を豊かにする子ども
- (4) 緑のカーテン 自然や環境問題に関心をもつ子ども
- (5) 清流祭 音楽を通して心をひとつにし，互いの絆を深めようとする子ども

## 【本年度の努力点】

- (1) 義務教育9年間を見通した教育課程をもとに，小中一貫教育を推進する。
- (2) 学びの質を高める授業づくりを推進し，学習意欲の向上と確かな学力の育成を図る。
- (3) 豊かな心を育成する道徳教育の充実を図る。
- (4) いじめを許さない集団づくりと不登校児童が生じない環境づくりに努める。
- (5) 命，体力，健康・安全，食育に関する指導の充実に努める。
- (6) 指導と支援にもとづく特別支援教育を推進し，その充実を図る。

## I 全体評価（割合を出す際の処理の関係で、合計が100%にならない場合があります。）

### 1. 教職員の自己評価

※昨年度南アルプス市より「小中一貫校八田小中学校」に制定され、自己評価の項目も中学校と同一のものとした。本年度は新型コロナウイルス感染症による影響（臨時休業・新たな生活様式等への対応）で、当初計画されていた教育活動を思うように実施できなかった。しかし、そのような中ではあるが「ピンチをチャンスに」を合言葉に、コロナ対策を行いながら、工夫して日々の教育活動に取り組んできた。

#### (1) 本年度の特徴

##### ① A・B（肯定的評価）の合計が100%の項目 7項目

- 「学校経営 1：生徒は楽しく学校生活を送っている」
- 「学校経営 3：学校教育目標達成のために『授業づくり』『安全・安心な学校生活』『いじめのない学校』の教育活動に取り組んでいる」
- 「学校経営 4：家庭に適切な連絡や情報提供を行っている」
- 「学校経営 5：生徒の安全が確保されるように防災教育・防犯教育等を整えている」
- 「生徒指導 13：児童生徒とのコミュニケーションをとることで、児童生徒理解に努めている」
- 「生徒指導 14：いじめなどのない楽しい学級づくりに努めている」
- 「生徒指導 15：保護者（家庭）とは密に情報交換し、指導に取り組んでいる」

##### ② A・B（肯定的評価）の合計が90%未満の項目 5項目

- 「学校経営 2：児童・生徒は小中一貫校の教育目標「ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成」の達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っていると思う」（84.0%）
- 「学校経営 6：小中一貫校（分離型）として、児童生徒の交流や、職員の交流を積極的に行っている」（80.0%）
- 「学校経営 7：ライフ・ワークバランスを意識した業務改善を行っていますか。」（81.0%）
- 「特色ある開かれた学校 17：開かれた学校を意識した、学校開放日等、保護者や地域に対し努力している」（87.0%）
- 「特色ある開かれた学校 19：合唱活動や運動会（体育祭）等の特色ある学校行事が充実するように努めている」（80.0%）

##### ③ D（否定的評価）がついた項目 2項目

- 「学校経営 2：児童・生徒は小中一貫校の教育目標「ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成」の達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っていると思う」
- 「学校経営 6：小中一貫校（分離型）として、児童生徒の交流や、職員の交流を積極的に行っている」

#### (2) 2学期の取組課題（自由記述より抜粋）

- ・「立腰タイム」を朝の会に取り入れた。1年生の時も朝の会でやっていたので、子ども達はスムーズに声掛けしていた。何事も毎日の繰り返しの大切さを痛感したので、継続していきたい。
- ・進んであいさつをする子どもが少ないし、あいさつされてもできない子どももいる。より良い人間関係の一步でもあるので、元気なあいさつができるように取り組んでいきたい。
- ・保護者から意見が出たときに、すぐに対応して下さりととてもありがたい。
- ・昨年より、子どもの様子が落ち着いているように思う。保護者対応を積極的にして下さりありがたい。
- ・改善していきたいと思うことは、あいさつができるようになってほしい点である。毎日繰り返し声をかけ、あいさつすることで改善されつつあるので、これからも継続して声掛けたり、児童に寄り添った共感的指導を心掛けたりしていきたい。
- ・休み明けよりも、児童の顔つきや言動が明るくなったように思う。
- ・昨年度と比べて落ち着きが出てきた子どもが何人かいて、成長を感じる。関わっている先生方のおかげだと思う。その中でも、未だに生活が乱れている子どもがいるので、全職員で指導していく必要があると感じる。情報共有することで適切な指導ができると思う。
- ・1学期はコロナの影響が大きく、余裕のない状況でしたが、2学期のスタートは落ち着いて始められる状況になっていることを願っている。

## 2. 学校生活に関する児童アンケート

※昨年度より中学校とほぼ同様の項目とした。ただし、発達段階が違うので表現が少し異なっている。

### (1) 本年度の特徴

#### ① 全体的な傾向

19項目中12項目において、肯定的評価が90%以上となっている。また、80%以上になると1項目増えて13項目あり、概ね良い結果が得られている。コロナの影響も心配されたが、昨年度との比較においても、ほぼ同様の数値であることから八田小学校の児童のおおよその傾向と言えるのではないだろうか。

おおむね満足できる結果ではあるが、さらに高みを目指すために課題点を見つけ改善していくことが必要だと考える。肯定的評価が80%未満のものを課題あるいは改善する余地があるものにとらえることとする。

#### ② A・B（肯定的評価）の合計が90%以上の項目

「学校が楽しいですか」 (94.0%)

「学校の授業がわかりますか。」 (95.0%)

「宿題を忘れずにしてきますか。」 (94.0%)

「何でも話せる、仲のよい友だちがいますか。」 (92.0%)

「相手の気持ちを考えて、行動していますか。」 (93.0%) (B評価が高い)

「先生や友だちの話をしっかり聞いていますか。」 (97.0%)

「時間を守って行動していますか。」 (94.0%)

「学校のきまりを守っていますか。」 (94.0%)

「給食当番やそうじをしっかりしていますか。」 (99.0%)

「自分からあいさつをしていますか。」 (91.0%)

「朝ごはんを食べて、登校していますか。」 (96.0%)

「月曜日から金曜日まで、すいみん時間は、だいたいどのくらいですか。」 (91.0%)

#### ③ A・B（肯定的評価）の合計が80%未満の項目・2学期の取組課題（6項目）

「授業中、質問や意見を言いますか。」 (72.0%)

「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」 (77.0%)

「宿題のほかに家庭学習（塾や家庭教師をのぞく）をしていますか。」 (68.0%)

「家で、本を読みますか。（宿題をのぞく）」 (70.0%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (72.0%)

「家の人に学校の様子を話していますか。」 (77.0%)

### 3. 保護者アンケート

※昨年度より項目を中学校と同一のものとした。兄弟姉妹がいる場合も、児童数分の回答をお願いした。

#### (1) 本年度の特徴

##### ① 全体的な傾向

14項目（除携帯電話項目）中12項目において、肯定的評価が80%以上であり、さらに90%以上の項目が7項目もある。この結果から、おおむね満足できる評価をいただいていると言える。ただ、コロナ禍のため、当初予定していた教育活動が未実施のものが「子どもの様子を知る機会」が減ったと感じている。また、実施できなかったからこそその存在意味が確かめられたとの声も聴かれた。学校教育には保護者との連携が欠かせないので、こんな状況ではあるが、様々な工夫を凝らしながら情報共有・連携を深めていきたい。

##### ② A・B（肯定的評価）の合計が90%以上の項目

「学校は、お子さんにとって、楽しいところだと思いますか。」（96.0%）  
「お子さんは、授業の内容が分かっていると思いますか。」（93.0%）（B評価が高い）  
「お子さんは、宿題（課題）を忘れずにしていますか。」（93.0%）  
「お子さんの仲の良い友達を知っていますか。」（96.0%）  
「ご家庭では、お子さんのしつけに力を入れていますか。」（95.0%）（B評価が高い）  
「学校（学年・学級）だよりから教育活動の様子を知ることができますか。」（94.0%）（B評価が高い）  
「学校には教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。」（92.0%）（B評価が高い）

##### ③ A・B（肯定的評価）の合計が80%未満の項目・2学期の取組課題

「お子さんは、宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師は、除く）をしていますか。」（59.0%）  
「お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友だちがいると思いますか。」（79.0%）

##### ④ 携帯電話の項目

「お子さんは携帯電話を持っていますか」 はい…22%（67人） いいえ…78%（244人）

「携帯電話を持たせている場合、お子さんと使い方についてルールを決めていますか」  
はい…94%（63人） いいえ…6%（4人）

#### (2) 備考欄への記述（抜粋）

- ・コロナの関係でできないからこそ、授業参観などは、子どもの生活を見るのに大事なイベントだと実感した。
- ・小中一貫教育に関しての取り組みがよくわからないため、一貫教育の強みや特色が皆に伝わりやすいとうれしいです。
- ・いつもきめ細かく指導していただきありがとうございます。
- ・たし算検定の合格証など、その後のやる気への継続はもちろん、これまでの頑張りを認めてもらい喜んでいきます。
- ・低学年は、八田中との交流が少ないので、運動会や合唱などの一部分でもお互い参加できたら良いと思います。
- ・八田小では、「いじめ」に関して、日ごろから友達とどう接すべきか指導しているのでありがたいです。
- ・とても学校が楽しいようで、安心しています。
- ・ケーブルテレビやオンライン授業とは言わないが、子ども達が飽きないような課題の出し方を工夫してほしい。子ども達は休業時、いろいろな不安が多かったように思います。
- ・新任の校長先生、教頭先生の顔もわかりませんでした。子どももしばらくわからず、ある時偶然に分かったようです。顔写真入りの紹介通知があると良いのではと思いました。
- ・家庭学習のパワーアップ週間の時期を検討してほしいです。宿題をするのが精一杯で、睡眠時間を削っています。
- ・やはり、授業参観などは普段の子どもたちの様子を見る良い機会だなと実感しました。
- ・授業内容を工夫して体験活動も取り入れて大変ありがたいです。
- ・コロナで学校行事がなくなり、学校と保護者の距離が遠くなってしまいましたが、学校の縮めようとする努力を感じました。出欠連絡をアプリ等でできないものでしょうか。
- ・スイッチ（ゲーム機）に関する子ども同士のトラブルが多く、利用時間や仲間はずれになるなど家庭だけの指導ではなかなか解決できず、保護者の多くも問題だと考えているようです。
- ・子どもの「等しく教育を受ける権利」を守っていただきありがとうございます。個別の対応、相談する時間を設けていただきありがたいです。
- ・緊急時の対応などの情報はいただいているが、些細なことでもよいのもう少し学校での子どもの様子を知りたいです。
- ・子どもは学校へ行くことが楽しみで仕方ないようです。

## Ⅱまとめ(成果と課題)。

「教職員自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」とも肯定的評価の割合が高く、おおむね満足できる状況にあると考えられる。ただ、そのことに満足することなく、そこから見えてくる課題や改善点を探っていくことがより良い「八田小学校」を創り上げていくうえで大事なことだと考える。

1学期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、48日間(5月25日～7月31日)という短い期間となり、様々な制約のなかで児童にとっても保護者にとっても当然教職員にとっても不自由なものとなってしまった。ただ、「ピンチをチャンスに」を合言葉に、攻めの対応でこの危機を乗り越えていきたいと考えている。様々な制約のもと、実施できなかった活動や対応を変えながらの実施になったものもある。その中で、「本当に必要なものは何か」、ということを考える良い機会になったように思う。コロナ禍を歓迎するわけではないが、学校を取り巻くいろいろな要素を見直す良い機会だととらえていきたい。

「教職員自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果をもとに改善の糸口を見つけ出していきたい。

### (1) 小中一貫教育について

保護者の声として「小中一貫教育に関しての取り組みがよくわからないため、一貫教育の強みや特色が皆に伝わりやすいとうれしいです。」というものがある。また、「学校は、小中一貫校(分離型)教育を意識して教育活動に取り組んでいると思いますか。」に対して、肯定的評価は82%(A:26% B:56%)と高いが、B評価が高いことが気になる。さらに教職員の自己評価においても、小中一貫に関わる項目における肯定的評価は80%を超えているが、やはりB評価が高く気になる場所である。まだまだ、取り組みは途に就いたばかりであり浸透していないことは否めないが、「強み」や「良さ」を伝えていく必要がある。そして何よりもまず、教職員自身がそれを実感し、児童生徒に還元し保護者地域に広めていきたい。まず4つの「つなぐプロジェクト」を柱とし実践を積み重ねていきたい。

### (2) コミュニケーションについて

コロナ禍で気になる保護者アンケートの項目として、「授業参観(フリー参観)や学校行事などは、子どもの様子をよく知る機会となっていますか。」がある。肯定的評価は87%(A:39% B:48%)と比較的高いものの、やはりB評価の割合が高い。当たり前と言えば当たり前だが、授業参観はおろか担任と保護者が顔を合わせることも、限定的であった。ましてや、新しい校長や教頭の顔などわかるはずもない。そんな中ではあるが、児童アンケートの「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか」や保護者アンケートの「学校には、お子さんのことで相談できる先生がいますか。」の肯定的評価が昨年度とあまり変わらぬことに一安心した。また教職員の自己評価「児童生徒とのコミュニケーションをとることで、児童生徒理解に努めていますか。」の肯定的評価も高く、厳しい状況でも積極的にコミュニケーションをとろうとしていることがわかる。コロナ禍で教育活動が制限されたり「マスク」を着けた生活になったりとお互いの考えや表情が見えにくいからこそ、積極的なかわりが大事になってくる。

### (3) あいさつについて

自己評価の記述の中に「あいさつをする子どもが少ないし、あいさつされてもできない子どももいる。より良い人間関係の一步でもあるので、元気なあいさつができるように取り組んでいきたい。」というものがある。学校評価に係る会議の中でも、同じような指摘の意見が出て、教職員とすると「あいさつ」には課題があるという共通認識である。また、「子ども見守り隊」の方からも、あいさつについて少しずつよくなっているが、もっと大きな声であいさつしてくれると嬉しい、という意見をいただいた。ただ、児童アンケートの「自分からあいさつをしていますか」の項目は、肯定的評価が91%(A:53% B:38%)でかなり高い。それぞれの立場によるとらえ方の違いか、教職員(大人)と児童の認識にはずれが見られる。「毎日繰り返し声をかけ、あいさつすることで改善されつつあるので、これからも継続して声掛けをしていきたい。」との指摘もあり、児童会とタイアップした取組や中学校・家庭・地域との連携も探りながら、今後も継続的に取り組んでいきたい。

### (4) 携帯・スマホについて

保護者アンケートでは「お子さんは携帯を持っていますか」の問いに対して、「はい」が22%「いいえ」が78%となっているが、学校が独自に児童に取った「学校いごちアンケート」では「自分が使えるスマホがある」と回答した児童が88%となっている。自分専用とは限らないが、「携帯・スマホ・通信機能付きゲーム機」が子ども達の身近な存在になっていることがうかがえる。保護者の記述の中にも、「スイッチ(ゲーム機)に関する子ども同士のトラブルが多く、利用時間や仲間はずれになるなど家庭だけの指導ではなかなか解決できず、保護者の多くも問題だと考えている」という指摘もみられる。最先端のツールの良さと危険性を併せて学習し、上手に使いこなしていく力こそが、今の子ども達には求められている。一律に規制をかけ、一時的に問題を解決しようとしても、本当の意味での解決にはならない。児童生徒、保護者、教職員で力を合わせ八田地区にあった解決策・利用方法を見出していきたい。